

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	小 山 淳 勝田 不学	高等学校 古典探究 古文編 （第一学習社） 高等学校 古典探究 漢文編 （第一学習社） 完全マスター古典文法 （第一学習社） 漢文必携 （桐原書店） 常用国語便覧 （浜島書店） Key&point古文単語330 （いっずな出版） ほか
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 ○自由選択		

◆学習の目標

- ・ 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
- ・ 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、その理解力、表現力の向上を図る態度を育てる。

◆主な学習内容・方法

- （１）語句の意味・用法及び文の構造を理解する。
- （２）文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。
- （３）基本的な助動詞・助詞の用法・意味、敬語法を理解し、古典の文章読解に役立てる。
- （４）基本的な句法を理解し、漢文の訓読・解釈に役立てる。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

- 〔標準〕・ 古典を理解するに当たっての基本的な語彙を身につけ読解することができる。
・ 助詞・助動詞の意味用法、敬語法、句法などの基本的な文法事項を理解し読解することができる。
- ・ 文章を文脈から判断して正しく理解することができる。
- 〔応用〕・ 登場人物の心情を正しく読み取ることができる。
・ 文章の内容をまとめていく表現力を身につけ記述することができる。
・ 文章の構成を捉え、文章の主題・大意を正確に把握することができる。
- 〔観点別評価の評価規準〕
- 知識・技能
古典の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に対する理解を深めている。
- 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 主体的に学習に取り組む態度
古典から学んだことを通して現代社会を考察したり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）	2学期（28時間）	3学期（16時間）
------	------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・教科書の本文については分からない箇所の語句を調べ、文法的な構造を考えておく。その際、辞書や文法の補助教材を活用し、自分自身の力で分かること・分からないことの区別を付けておく。
- ・漢文句法をマスターするため、漢文学習では「基本漢文マスター」に常に立ち返って復習する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	古典文法確認 入試問題演習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古文読解の技法の確認 文語文法・敬語法・助動詞 ・助詞・主語の確認 ・漢文 句法確認 受け身・使役・否定・疑問等の問題 頻出句法について ・漢文についての基礎事項確認 	次の項目が理解できること。 ・助動詞の働き・敬語の基本。 ・源氏では和歌が表現の中心にあること。 ・物語全体の登場人物の動き。 ・問題演習の場合 大まかな内容。 文法的識別。 基本古語の意味。
	5	・随筆 ・物語 ・説話	3 3 4		
	6	漢文句法確認 入試問題演習	2 2		
	7	・小話 ・思想 「源氏物語」	2 3 3		
2 学期	8	入試問題演習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の文章構成を考える。 一助詞、敬語法、挿入句、倒置法などから主語の転・不転換を見付ける方法を学習する。 ・歌論・評論というセンター試験頻出のジャンルの文章に慣れる。 ・それぞれの漢文の文章のテーマを理解し、筆者の主張を把握する。 ・演習問題で知識の応用を図る。 	次の項目が理解できること。 ・助詞、敬語法、挿入句、倒置法などから主語の転換・不転換を見付けること。 ・助詞の意味と働きについて。 ・評論、逸話の、筆者の主張の「核」となる部分。 ・問題演習の場合 大まかな内容。 語句の文法的識別。 基本古語の意味。
	9	古文－物語 評論 歌論	8		
	10	漢文－『史記』	4		
	11	入試問題演習	2		
	12	古文－物語・説話 漢文－思想・詩	6 4		
	12	入試問題演習	2		
3 学期	1	大学入試 過去問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試過去問題の演習を行い、実際の入試で有効な 問題解答力を高める。 	次の項目が理解できること。 ・小説読解後の、文章の構成、登場人物の心情、主題。 ・評論読解後の、論理の展開、要旨
	2				
	3				